

山本研究室（環境経済学）

教員名：山本裕基

● どんな研究をしているところ？ どんなことに役立つの？

山本研究室では、環境問題や途上国問題を解決するためには、どのような政策が効果的なのかを経済学の視点から考えます。経済活動が環境破壊を発生させているのであれば、その解決も経済の視点から考える必要があります。環境問題を解決しながら経済が発展していくためには、どのような方法が効果的なのか。貧困を無くすためにはどのような仕組みや制度が考えられるのか。このような課題に国内外を問わず取り組んでいます。

研究をおこなう上では、学術的な知識と分析能力の習得だけではなく、自分の考えを他者へ伝えるためのコミュニケーション能力が重要です。こうした能力を総合的に身につけるために、研究計画立案、フィールド調査、社会実験、パワーポイントを使用した要旨の報告、統計分析の手法、論文・報告書の作成などを経験的に学んでいきます。こうした能力は、多くの職種で要求される能力でもあり、企業が評価する部分でもあります。これらの経験で専門性を高めて、社会に出るときの強みにしましょう。

研究テーマ例



フィールド調査(インドネシア)
農家の収入や生活を調査



水汲みに従事する女性（ネパール）
15kg の甕を 2 時間かけて運ぶ



持続可能な森林から供給された
木材の使用を証明するロゴマーク

● 先輩はどんなところに就職しているの？

平成 28 年度より始まった研究室なので、まだ卒業生はいません。どのような分野に進まれても必要となるスキルを身につけてもらうようにしていきたいと考えています。